

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドドド国立てくてく4

国立市立国立第七小学校

平成28年7月13日 NO.33 (333)

オー君 「ねえねえ、花ちゃん。ぼくのお母さんが『じゅもん』のような不思議な言葉を
言っているんだ。」

花ちゃん 「え！『じゅもん？』・・・何て言ってるの。」

オー君 「かい・もん・こう・もく・か・ぞく・しゅ って、言っているんだ。覚える
ぞ。覚えるぞ！と、はりきっているんだ。何だろうね。本当に不思議な言葉
なんだよ。」

花ちゃん 「あ！わたしわかった！この前の『国立てくてく4』に書いてあったものでは
ね。モンタ博士。」

モンタ博士「そのとおり。よくわかったね。『界・門・綱・目・科・属・種』 と言ってね、
小学生にはちょいとむずかしいかな。大人向けに書いたんだよ。」

オー運 「ぼく、何でもかんでも知りたいな。勉強したいな。何なのそれ？」

花ちゃん 「わたしもいろいろと知りたいです。自分から進んで勉強すると、どんなこと
でも楽しくなるもん。わたし自由学習大好きです。」

オー君 「ぼくも、自由勉強大好きです。今、国立七小のある学年のあるクラスで
は、自由勉強がとてもはやっているそうなんだってさ。いろいろと自分で
不思議に思ったことを自分で調べては、先生に見せているそうなんだ。」

モンタ博士「ほほー。それはそれはすばらしい。毎日が夏休みの自由研究みたいだね。
どんどん自分から進んで勉強していこう。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士。さっきの『界・門・綱・目・科・属・種』のお話の
続きをお願いします。」

モンタ博士「そうだね。簡単にいうと、地球にはいろいろな生き物がいるけど、それらは、
みんなちがうけど、いくつかの仲間分けができるんだ。その単位としてある
のが、『界・門・綱・目・科・属・種』というわけさ。」

花ちゃん 「つまり・・・簡単^{かんたん}にいうとどういことですか。」

モンタ博士「そうだな。では、モグラとヒマワリ^{かんが}を考^{どうぶつかい}え、モグラは動物界でヒマワリは植物界^{しよくぶつかい}なのさ。これは簡単^{かんたん}だね。次に人間^{にんげん}とダンゴムシ^{かんが}を考^{にんげん}え、人間は背骨^{せぼね}がある動物^{どうぶつ}なので脊椎動物門^{せきついどうぶつもん}で、ダンゴムシは体^{からだ}に節^{ふし}があるので節足動物門^{せつそくどうぶつもん}なのさ。」

花ちゃん 「それで、それで・・・。」

モンタ博士「次に、ザリガニとミツバチ^{つぎ}を考^{かんが}え、ザリガニは外側^{そとがわ}に固^{かた}い殻^{から}があるので、甲殻動物^{こうかくどうぶつ}綱^{こう}で、スズメバチは虫^{むし}の仲間^{なかま}なので昆虫^{こんちゅう}綱^{こう}さ。さらに、アゲハチョウはチョウ^{なかも}の仲間^{なかま}でチョウ目^{もく}で、カミキリムシは甲虫^{こうちゅう}の仲間^{なかま}で甲虫目^{こうちゅうもく}だね。」

オー君 「それで、それで・・・。」

モンタ博士「次に、タマムシはタマムシ科^かで、カナブン^{つぎ}はコガネムシ科^かだね。さらに、カブトムシはカブトムシ属^{ぞく}で、ハナムグリはハナムグリ属^{ぞく}になるんだ。そして、同じクワガタ属^{おな}でも、種^{しゅ}として、ミヤマクワガタ^{ぞく}がいて、コクワガタもいる。まあ、そういうわけだけど、わかったかな。むずかしかったかな。」

花ちゃん 「ふーむ。むずかしいわ。オー君。わかった。」

オー君 「わかったような・・・わかんないような・・・つまり、いろいろな生き物^{いもの}の親戚^{しんせき}関係^{かんけい}みたいなものなのかな。」

モンタ博士「そのとおりさ。兄弟^{きょうだい}とかいとことかいるだろう。遠い親戚^{とおいしんせき}とか近い親戚^{ちかしんせき}とかいるだろう。それに似^にたようなものなのさ。」

花ちゃん 「そうか！つまり、どこかでつながっているというか、生き物^{いもの}って、いろいろといるけど、仲間^{なかま}分けをするときのレベルとかステップみたいなもの。」

モンタ博士「そのとおりさ。むずかしい言葉^{ことば}で『系統^{けいとう}』というけど、『進化^{しんか}』の過程^{かてい}をまとめたようなものと言^いったら、またむずかしくなっちゃうかな。」

オー君 「うん。またむずかしくなっちゃったなあ。ところで、ぼくや花ちゃん^{にんげん}は人間という生き物^{いもの}だけど、その『界^{かい}・門^{もん}・綱^{こう}・目^{もく}・科^か・属^{ぞく}・種^{しゅ}』ではどうなるの。」

モンタ博士「動物界^{どうぶつかい}・脊椎動物門^{せきついどうぶつもん}・哺乳綱^{ほにゅうこう}・霊長目^{れいちょうもく}・ヒト科^か・ヒト属^{ぞく}・ヒトとなるのさ。」